

平成 27 年度定期総会 会長就任あいさつ（平成 27 年 5 月 20 日）

全日本中学校長会会長 伊藤俊典

ただいま、全日本中学校長会第 39 代会長としてご承認いただきました、東京都港区立白金の丘学園 白金の丘中学校長 伊藤 俊典 でございます。新役員を代表して、ご挨拶申し上げます。

本日ここに、皆様のご賛同を得て大役を仰せつかりましたことは、身に余る光栄に存じます。何分微力ではございますが、本会の目的を達成し、未来ある中学生のために、誠心誠意、会長としての任務を果たしてまいる所存でございます。

さて、現在、日本の教育界においては、様々な教育改革が行われ、新たな制度構築や学習指導要領の改訂、いじめ防止など中学校教育は重要な局面を迎えております。そこで、今年度、全日中として取り組んでまいりたいと考えていることを 4 点述べさせていただきます。

**1 点目は、全日中の組織と機能を充実し、活動の活性化を図る、**ということです。

そのために、「総会、常任理事会、理事会、部会、委員会等の事業の着実な実施」「東日本大震災支援委員会を中心とした被災県への支援の継続」「全日中研究協議会福岡大会、各地区の研究大会などによる研究活動の充実」「各都道府県校長会との連携」などを推進したいと考えています。

**2 点目は、「全日中教育ビジョン」の推進**です。

「全日中教育ビジョン ―学校からの教育改革―」は、平成 25 年 3 月に改訂版が示されました。本年度は、改訂されてから 3 年目を迎え、変化の激しい時代の新たな課題や教育の動向を踏まえ、2 回目の改訂を行ってまいります。改訂にあたりまして

は、全国からの御意見を基にして、国の教育施策の動向や学校教育の現状を鑑み、今後目指すべきものを明確にしてまいりたいと存じます。

そして、「有言実行」の行動理念の下に学校からの教育改革を自ら考え進める全日中として、10の提言を中心とした「全日中教育ビジョン」を、全国の会員の皆様方と推進してまいりたいと考えております。

**3点目は、教育諸条件の整備・充実や職責に見合った待遇改善を目指した取り組み**であります。

確かな学力の定着と向上、豊かな心の育成、健康と体力の増進など中学校教育の充実や国・各自治体が掲げる様々な教育改革への取組を実践し、「全日中教育ビジョン」を確実に推進して成果をあげるためには、教育諸条件の整備が不可欠であります。

「被災地における義務教育諸学校の教育活動正常化への人的・財政的支援」や「義務教育費国庫負担制度」「人材確保法」「教科書無償給与制度」の堅持を始め様々な条件整備が大切と考えますので、全国からのご意見・ご要望をまとめ、他の教育諸団体とも連携しながら文部科学省を始め、関係諸機関に働きかけていく所存であります。

**4点目は、国の教育改革の動向への対応です。**

教育再生実行会議の提言や中央教育審議会の答申を始め、国の教育改革の動きは早く、内容も多岐にわたっています。教育改革の情報や実践例などを広く全国の校長先生方に発信していくとともに、学習指導要領改訂への意見を国へ伝えるなど全日中として国の教育改革への参画意識を高くして対応してまいります。

結びになりますが、これまでの歴代会長はじめ諸先輩方が築かれ継承されてこられましたことを受け継ぎ、「**実践もあり理論もある 教育の実践的専門家集団**」としての役割を果たしていくため、全日中教育ビジョン策定の精神に則り、「**教育改革によ**

「**って未来を切り拓く全日中**」を目指し、皆様と共に歩んでいくことをお誓いし、就任の挨拶とさせていただきます。1年間、どうぞよろしく願いいたします。